

■事業の概要

1. 管理運営全般

(1) 理事会及び評議員会の開催状況

平成 28 年度において、理事会を 8 回、評議員会を 7 回開催しました。

(2) 監査の実施状況

ア. 監事監査

監事は、平成 28 年度に開催されたすべての理事会・評議員会に出席し、学園の重要な業務の決定及び執行状況等について監査を行いました。

また、平成 24 年度より中間監査を行っており、平成 28 年度も前期予算執行状況の監査及び理事の業務執行状況を確認しました。

なお、会計監査では同席した監査法人の業務執行社員に主要項目について説明を求め、計算書類および財産目録等について監査を行いました。

イ. 監査法人による会計監査

平成 28 年度において、監査法人彌榮会計社による監査が 16 日間に亘って実施されました。

ウ. 内部監査

平成 27 年度の科学研究費補助金等の公的研究費にかかる帳簿と証憑および平成 27～28 年度科学研究費交付者の通常監査ならびに特別監査について、内部監査委員による内部監査を行いました。

(3) 将来構想検討委員会

将来構想検討委員会は、学園教職員の中からメンバーを委嘱し、学園の将来を見据えた大学の戦略を策定する場として機能しており、平成 28 年度も、学園が当面する諸問題等を検証し、将来構想についての検討を行ってきました。

平成 29 年度も引き続き学園の将来構想について検討を行う予定です。

2. 大学・大学院

(1) 学生募集、広報関係

学生募集においては、入学生の質的および量的な確保のため、積極的な広報活動に取り組んでいます。重点施策として、オープンキャンパスの動員強化や資料請求者に対するきめ細かいフォローにつとめています。平成 29 年度入試では、志願者が順調に集まり、全体で 8.0%（第 1 志望のみ）の増加となり、大学院を含む全学科で定員を充足しました。

また、平成 30 年度に開設を予定している「作業療法学科」について、高校内ガイダンスや受験雑誌等を利用したの PR 活動への取り組みを行いました。

(2) 大学院の教育課程の見直し等

大学院（保健医療学研究科）について、理学療法学科、ヘルスプロモーション整復学科の卒業生だけでなく、保健看護学科、臨床検査学科の卒業生にも対応したカリキュラムとなるよう検討を重ね、平成 29 年度から教育課程を変更するための学則変更届を、平成 28 年 9 月 2 日付で文部

科学大臣に提出しました。

(3) 保健医療学部の教育課程の見直し

① 臨床検査学科の教育課程の見直し

臨床検査学科は平成 28 年度に完成年度を迎えましたが、これを機に、平成 30 年度を目処に収容定員増（入学定員を 50 人から 60 人に）及び教育課程改定を行うため、検討を行いました。

② はり灸・スポーツトレーナー学科及びヘルスプロモーション整復学科の教育課程の見直し

平成 29 年度に認定・指定規則が改定される予定であった両学科について、平成 30 年度の教育課程改定のため、申請の準備を行いました。

(4) アクションプランの策定

建学の精神を具現化し、優れた医療人を社会に送り出すため、教育の方法と仕組み及び教育環境について、さまざまな改善の取り組みを行っています。学内で進行中の取り組み及びこれから計画的に実行していく改革について、平成 28 年度に受審した第三者機関による機関別認証評価に伴い、本学の中期目標・中期計画と、それを実現するための具体的な年次計画を「関西医療大学 中期目標・中期計画（平成 27 年度～平成 31 年度）に係るアクションプラン」として策定しました。今後、進捗の点検・評価と適切な見直しを加えながら、それぞれのプランを推進していきます。

(5) 学修成果発表会の開催

平成 28 年 9 月 2 日（金）に、学生主体の学修成果の発表により、個々の勉学に対する追求心の向上と学科間の交流を図ることを目的として、昨年度に引き続き、「第 2 回学修成果発表会」を開催しました。夏休み中から準備をする学生が多く見られるなど、学生の学修意欲を感じる機会となっており、平成 27 年度はシンポジウム 5 題、講演発表 56 題、参加者 334 人でしたが、早期の学内掲示、大学 Facebook などの SNS での広報活動等により、今年度はシンポジウム 5 題、講演発表 61 題、参加者 447 人とより充実した会となりました。

(6) 教育環境の整備

① 理学療法学科及び保健看護学科の収容定員増に対応して、教具・教材の整備等を行いました

② 平成 25 年 4 月設置の臨床検査学科については、平成 28 年度は完成年度となりましたが、設置計画の確実な履行と設置計画に基づいた教育環境の整備等を行いました。

③ その他、必要な教材等を購入するなど、教育環境のより一層の充実を図りました。

(7) 学生サービスの充実

① 昨年度に引き続き、成績が優秀な学生を対象とした特待生や関西医療学園奨学生を採用しました。

② 大学院学生に対して、1 人あたり 40 万円の奨学金を支給することで経済的な負担を軽減しました。また、平成 29 年度に大学院の授業料を 100 万円から 60 万円に改定するための学則変更届を平成 28 年 9 月 2 日付で文部科学大臣に送付しました。

③ 学生増に対応して、朝・夕の通学時間帯に路線バス（急行便）各 1 便を増便しました。

(8) 進路支援

学生の進路指導については、各学科の進路個人面談を行ったほか、キャリア支援イベントとして「合同就職説明会」、面接のマナー（模擬面談）講習やコミュニケーション研修などの「キャリア教育」、「卒業生と語る会」、「特別講義」等を開催しました。

また、特に平成 28 年度に第 1 期生が卒業した臨床検査学科について、就職情報の収集等を行い、

病院、検査センターなどに対して求人依頼を行いました。

(9) 在学生のモチベーションアップ講演会の開催

前年度に引き続き、4月4日(月)の入学式終了後に、新入生を対象として、学生の勉学や就職へのモチベーションを高めるため、「人間力」についての特別講義を実施しました。また、平成27年度から行っている保護者説明会を、平成28年度も、この講演会の時間に開催しました。

(10) 研究

教員が12の研究ユニットのいずれかに属し、共同研究推進委員会がこれを統括するという研究体制を取っており、研究体制のさらなる改良を検討しています。その他、学内において研究交流会の開催等の活動を行っています。

平成27年度より、「研究倫理教育」および「コンプライアンス教育」に係る学内研修会を開催しており、今年度も開催しました。さらに、学内の全教員、研究に係る業務を担当する職員および大学院生が、eラーニングによる研究者行動規範教育「CITI Japanプログラム」を受講することで、研究倫理教育のより一層の推進を図りました。

外部資金としては、文部科学省および日本学術振興会の科学研究費補助金を獲得しました。

(11) 施設・設備の整備・補修等

以下のとおり、施設・設備の整備・補修等を行いました。

- ①3号館5教室のプロジェクターの更新、2教室に新規設置
- ②管理棟・1号館・2号館・4号館・体育館のトイレ改修
- ③1号館女子ロッカー室の塗装工事
- ④1号館2階の講義室・実技室等の扉の修繕および2階旧CALL教室の改修工事
- ⑤2号館1階および診療・研究棟3階出入口扉の換装
- ⑥5号館庇防水工事
- ⑦診療・研究棟1・2階トイレのウォッシュレット・ウォーマーの設置
- ⑧防滑対策工事
- ⑨ダストボックスの更新
- ⑩4号館建替に伴うアスベスト調査 等

(12) 業務の改善・システム化

ア. 大学教学業務基幹システム

Web上で自分の時間割や成績、シラバスを見ることができるよう等、学生サービスを充実し、併せて大学(教学)業務の一部を見直してシステム化するため、大学業務基幹システムを平成27年度より3年間で順次導入する計画をすすめています。このことにより、学生の利便性を高め、併せて大学全体のデータを一体化し、業務を効率化することが期待できます。このうち、平成27年度は設計と一部開発を、平成28年度は本開発とテスト稼働を行いました。

(13) 自己点検・評価、FD・SD活動等

ア. 自己点検・評価活動

平成28年度の認証評価受審に伴い、大学が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、改善に努めました。

また、平成17年度から、「教員の活動状況調査票」による教育研究の実態調査を開始し、学長がこの調査票を取りまとめ、将来の参考として保存しています。引き続き、平成28年度の調査

を行いました。

イ. FD活動

本学の教育目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況の自己点検・評価や、必要な改善点について、検討を行いました。

また、以下の通りFD活動を行いました。

- ①学外講師を招いた講演会の開催
- ②公開授業（教員相互の授業評価）の実施
- ③授業評価アンケートの実施
- ④Pre-GE テストの実施（学部入学生を対象）
- ⑤初任者研修会の開催

また、平成27年度にカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づいたカリキュラムマップを作成して、科目のナンバリングを行い、平成28年度シラバスのすべての科目にこのナンバリングを記載して、各学科における科目の位置づけを明確にしました。

関西の鍼灸系学科を持つ4大学（宝塚医療大学、明治国際医療大学、森ノ宮医療大学、関西医療大学）が『「関西」鍼灸系大学間連携における包括協定書』を締結して様々な取り組みを行っています。本学は、平成28年度はFD・SDワーキンググループの担当校でしたが、本年3月21日に、本学でFD研修会を開催しました。

ウ. SD活動

文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団、私学経営研究会および日本私立大学協会等が実施する外部研修会に事務職員が参加するなど、職員自身が業務の専門性や効率性の向上を目指せるように支援し、職員全体の資質の増進に努めました。

また、学内においては、本学職員を講師としてSD研修会、外部講師によるハラスメント研修会を開催しました。

その他、上記「FD活動」でも記載した関西鍼灸系大学間連携のSD研修会を平成28年8月24日に本学で開催しました。

(14) 国際協力機構からの研修生の受け入れ

本年度も、独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業の「鍼灸学」の短期コース研修生（アルゼンチン）を1人受け入れました。

また、平成28年10月13日に、国際協力の業務に長年にわたって協力し、特に功績があったと認められる個人と団体に贈られる「JICA国際協力感謝賞」を本学のJICA担当教授が受賞したほか、平成29年3月には、鍼灸分野で活躍する帰国研修生（日系人）による帰国後活動報告会が行われ、このうち3月13日～14日に、本学で帰国後活動報告会が開催されました。その他、平成29年3月に、本学で行われた研修の資料をまとめた『JICA日系研修「鍼灸学」ガイドブック』（発行者：独立行政法人国際機構 関西国際センター）が発行されました。

(15) 地域貢献・社会貢献

ア. 公開講座の開催

昨年度より、メインテーマを「未病から先がけの医療へ」― 生と医の未来を切りひらく ― と一新して、平成28年10月15日（土）に公開講座を開催し、115名の参加がありました。

外部より講師を招き、「養生と養生灸」について講演いただき、学内講師によるシンポジウムを行いました。

イ. 熊取町との連携

地元熊取町に対し、各種市民講座への講師派遣、行政への協力のほか、定期協議を継続して行いました。また、町からの求めに応じて、以下の通り町内の健康福祉等の事業に協力しました。

- ①「熊取町青少年問題協議会」委員に就任
- ②「熊取町障害支援区分判定審査会」委員に就任
- ③「熊取町保健対策推進協議会」委員に就任
- ④「熊取町国民保護協議会」委員に就任
- ⑤「健康お悩み相談コーナー」開設
- ⑥「熊取町防災会議」委員に就任
- ⑦「熊取町交通事故をなくす運動」推進本部 理事に就任
- ⑧「熊取町献血推進協議会」委員に就任
- ⑨「町民文化祭」「環境美化強調月間・路上喫煙禁止街頭啓発キャンペーン」等の町イベントへの協力
- ⑩「熊取町総合計画審議会」委員に就任

ウ. 大学間連携の強化（大学コンソーシアム大阪）

大学コンソーシアム大阪の一員として、引き続き事業に参加し、連携しています。

特に大学の募集活動並びに大学運営に必要と思われる事業について、積極的に連携を図りました。

(16) 大学ポータルへの参加

平成 26 年度より、日本私立学校振興・共済事業団が運営を開始した「大学ポータル」（全国の私立大学が統一フォーマットの下、インターネット上で教育情報を開示する事業）に参加しました。平成 28 年度も引き続き本事業への参加を継続し、本学の教育理念と教育の特色および最新の教育関連データ等を受験生、保護者、高校進路指導担当者等のステークホルダーに対して提供しました。

(17) IR (Institutional Research) 活動への取組み

学生教育や大学運営に関するデータベースの構築と分析を目的とする IR 活動を推進するため、平成 26 年度より本学内に教職協働の組織（IR ワーキンググループ）を発足しました。平成 28 年度は、学内の各種委員会および事務の各部署と連携しながらこの組織の活動を本格化させ、学生教育に関するデータを中心に整理と分析を行いました。

3. 大学附属保健医療施設

本学附属保健医療施設は、大学の臨床教育機関として、また、地域の保健医療機関として重要な役割を果たしています。

平成 28 年度は、保健医療施設全体で基本理念・行動指針に基づいた患者ニーズに沿った診療・治療体制の確立、介護保険事業の通所リハビリテーションにおいては、地域の介護支援事業者と日常的な連携を強化し利用者の増員を図り、よりよい通所リハビリテーションに努めました。

(1) 附属診療所の運営

平成 28 年度の医療改定にともない医療リハビリから通所リハビリへの移行に際し、他病院等か

らも通所リハビリの利用者が増加したことにより職員及び車の補充、定員の変更により通所リハビリのよりよい環境・運営に努めました。また、平成15年度に購入した医療機器の老朽化に伴い診療体制に見合う診断・検査機器の見直しと整備を進めました。また、今年度予算計上しておりますMRIについては、現在も故障もなく稼動しておりますが、次年度に更新をする方向となり、広報活動を計画的に進めていきます。

(2) 鍼灸治療所の運営

鍼灸治療所は外部PR活動の一環として前年度から引き続き、出張講義等地域の取組みによる増患対策に努めました。

(3) 附属接骨院の運営

平成28年度は増患対策の一環として、アロマセラピーの施術を開始したことにより患者も徐々に増加しており、前年度に引き続き治療部長を中心とした治療方針及び情報共有により患者ニーズに沿った治療体制、病状に合った施術方法を確立し、接骨院内での運動指導及び接骨院外での運動教室の強化、診療所・鍼灸治療所との連携により患者数の増加を図りました。

また、増患対策として、PR用ビデオの放映及びダイレクトメールの送付等広報活動を行いました。また、外部PR活動の一環として始めている運動指導・運動教室を年間スケジュールで計画的に行い、積極的に広報、啓蒙活動に取り組みました。

(4) 危機管理体制の充実・強化

インフルエンザ等感染症・個人情報保護等における適切な対応を図るため、危機管理体制の充実・強化を図りました

(5) 広報活動の推進

平成28年度も、以下の通り引き続き広報活動を行い、新規事業である通所リハビリテーションを含めた保健医療施設の認知度向上を図りました。

- ア. 附属保健医療施設屋外看板
- イ. 地域情報誌等へのPR活動
- ウ. 近隣ボランティア活動の会と交流、地域住民へのPR
- エ. ホームページ委員会と連携し充実した内容に更新
- オ. 接骨院主催の運動教室・公開講座参加者等へのPR
- カ. 地域医療機関及び居宅介護事業所との連携
- キ. リーフレットを作成し介護支援事業者等にPR
- ク. 診療所内及び外部へPR

4. 専門学校

(1) 自己点検・評価及びFD・SD活動等

ア. 自己点検・評価の実施

自己点検・評価委員会において、平成27年度の評価をとりまとめ、ホームページに報告書を公表しました。また、第三者評価制度について、文部科学省主催の「専門職高等教育の質保証・向上の今後を考える」成果発表会、文部科学省委託事業「理学・作業療法の第三者評価等に係る先進的取組の推進事業」成果報告会に出席して、情報交換を行いました。

イ. FD・SD研修会等に関わるもの

ア) 柔道整復学科FD研修 (平成28年4月～9月)

教育課程における機能訓練指導の教授に対応するため、介護職員初任者研修を学科専任教員が順次受講し資格を取得するため、28年度は2名が受講しました。

イ) 理学療法学科FD研修 (平成28年10月1日(土曜)10:00～11:30開催)

「理学療法士の認知度からみた理学療法教育の在り方について」

講師 熊崎大輔 先生(理学療法学科専任教員、大阪府理学療法士会 理事)

ロ) 東洋医療学科FD研修 (平成29年3月8日(水曜)13:30～15:30開催)

「試験問題の作成について」

講師 青野由紀 先生(東洋医療学科専任教員)

エ) 学校協会教員研修等

① 東洋療法学校協会教員研修会参加 (平成28年8月2日～3日、大阪)

② 柔道整復学校協会教員研修会参加 (平成28年8月23日～24日、大阪)

③ 全国リハビリテーション学校協会教員研修会参加 (平成28年8月18日～20日、香川)

④ 近畿リハビリテーション学校協議会教員セミナー受講 (平成28年10月1日、大阪)

⑤ 柔道整復学校協会制度委員会学生募集広報研修会参加 (平成29年1月31日、東京)

オ) SD研修会

① 教育講演会 (全校研修)

「人生を成功に導く人間力」(平成28年4月9日(土曜)14:30～16:00開催)

「人間力の錬磨」(平成28年4月10日(日曜)10:30～12:00開催)

「コミュニケーションスキルの要諦」(平成28年4月10日(日曜)13:00～14:30開催)

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

② 入試広報研修 (全校研修)

「効果的な高校訪問に関する具体的な方法について」

(平成28年5月7日(土曜)11:00～12:00開催)

講師 樋口和弘 氏(関西医療大学入試広報部)

③ ハラスメント防止研修 (全校研修)

「ハラスメント防止対策を前進させるために」

(平成28年7月2日(土曜)10:00～11:00開催)

講師 小牧美江 先生(大阪司法書士会 司法書士)

④ 学生募集・広報活動研修会 (柔道整復学校協会制度委員会)

「成功する学生募集の入試広報戦略」

(平成29年1月31日(火曜)14:15～16:45開催、東京)

⑤ 事務職研修

「入試広報業務」(平成28年8月1日(土曜)14:00～15:00開催)

講師 徳久勇介 氏(専門学校入試広報課)

⑥ 資格取得等 (事務職)

第一種衛生管理者 (合格2名)、進路アドバイザー検定 (合格2名)

防火管理者 (講習修了2名)

ウ. 教育講演会の開催

年度始めにあたり、学生のモチベーションを引き出す取り組みとして、教育講演会を開催しました。この講演会は教職員も研修の一環として拝聴しました。

新入生 (平成28年4月9日(土曜)14:30～16:00)

在校生 (平成 28 年 4 月 10 日 (日曜) 10:30~12:00、13:00~14:30)

講師 坂東弘康 先生(一般財団法人日本教育推進財団 会長)

(2) 学生定員の確保及び学生支援

ア. 入試広報活動の強化

ア) 学校説明会・入学相談会の開催

学校説明会及び入学相談会については、入学試験出願につながるような説明と相談に努め、平成 28 年度は、ダブルライセンス取得率の高い東洋医療（鍼灸）学科と柔道整復学科を合同で開催しました。また、入学相談会については夜間時間帯の相談を含めて対応しました。

イ) プレスクールの開催

入学手続き者に対し、就学前の不安を解消し、学習方法の助言や各専門分野に興味をもてるような事前学習を行うことにより、安心して学生生活に進むことができるようにプレススクールを開催しました。(平成 29 年 2 月~3 月)

ウ) 保護者懇談会の開催

高等学校新卒生の入学率の高い理学療法学科について、入学式終了後に保護者懇談会を開催しました。40 名を超える出席を得て、本校の教育方針と指導を説明のうえ意見交換を行い、本校と保護者が共通した認識で学生の指導・支援を行う体制の確保に努めました。

イ. 特待生制度等

ア) 特待生奨学金による学費減免

イ) 学園奨学金の貸与

ウ) 柔道奨学金の給付

(3) 指定（認定）規則等の改正に係るカリキュラムの変更について

平成 30 年度改正予定のあはき師、柔道整復師の学校養成施設の関係法令の改正について、厚労省カリキュラム検討委員会の傍聴、学校協会等関係団体との情報交換を行いました。

(4) 行政庁による定期指導調査及び変更承認申請等手続きについて

ア. あはき師養成施設定期指導調査について

近畿厚生局によるあはき師養成施設定期指導調査が、平成 29 年 1 月 25 日に実施され、特段の指導事項もなく終了しました。

イ. 柔道整復学科夜間部定員変更に係る承認変更申請等

平成 29 年度入学生から柔道整復学科夜間部の定員を現行の 60 名から 30 名に減員する変更について、大阪府知事に申請を行い、平成 29 年 2 月 4 日付けで承認されました。

ウ. 理学療法臨床実習施設の変更承認申請

理学療法学科の臨床実習施設の変更について、大阪府知事に申請を行い、平成 29 年 2 月 3 日付けで承認されました。

エ. 学納金改定に係る学則変更届について

平成 29 年度生から適用する東洋医療鍼灸学科、柔道整復学科、理学療法学科の学納金改定に係る学則変更について、大阪府知事及び大阪府教育長に届け出を行いました。

5. 平成29年度 学生の応募状況

学部、学科（入学定員）		志願者数	入学者数	備考	
関西医療大学	保健医療学部（200名）	1,749名	221名		
	保健看護学部（90名）	1,066名	101名		
	小 計（290名）	2,815名	322名		
	大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻（9名）	10名	10名		
	合 計（299名）	2,825名	332名		
関西医療学園 専門 学 校	東洋医療学科（30名）	94名	30名		
	東洋医療鍼灸学科	昼(30名)	62名	30名	
		夜(30名)	43名	17名	
	柔道整復学科	昼(60名)	37名	32名	
		夜(60名)	22名	8名	
	理学療法学科（40名）	85名	40名		
	合 計（250名）	343名	157名		
総 計（549名）	3,168名	489名			

※大学、専門学校の志願者数は重複志望を含みます。

6. 平成28年度 資格試験の合格者状況

学 校 名	資 格	卒業生数	受験者数	合格者数	合 格 率	
関西医療大学	保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科	は り 師	58名	49名	39名	79.6%
					き ゅ う 師	34名
	保健医療学部 理学療法学科	理学療法士	47名	47名	46名	97.9%
	保健医療学部 ヘルスポモーション整復学科	柔道整復師	44名	37名	29名	78.4%
	保健医療学部 臨床検査学科	臨床検査技師	54名	49名	48名	98.0%
	保健看護学部 保健看護学科	看 護 師	93名	93名	92名	98.9%
保 健 師		15名			100.0%	
関西医療学園 専門 学 校	東洋医療学科	あん摩マッサージ指圧師	30名	30名	27名	90.0%
		は り 師			24名	80.0%
		き ゅ う 師			24名	80.0%
	東洋医療鍼灸学科	は り 師	36名	36名	27名	75.0%
		き ゅ う 師			26名	72.2%
	柔道整復学科	柔道整復師	60名	60名	45名	75.0%
	理学療法学科	理学療法士	36名	36名	36名	100.0%